



V 中期計画・年間計画



業務実施計画（概要）

- 立ち上げ、実行、発展の3つのフェーズに分け、民間公益活動の成果の促進、エコシステムの構築を推進していく。各項目ごとの詳細は次ページ参照。

	立ち上げフェーズ 2019年1月～2019年12月(12ヶ月)	実行フェーズ 2020年1月～2021年12月(24ヶ月)	発展フェーズ 2022年1月～2024年3月(27ヶ月)
	<ul style="list-style-type: none"> 指定活用団体としての組織運営体制の基盤を構築しつつ、公募・選定・評価の一連の業務サイクルを実行。 また、制度の周知を推進しつつ、民間公益活動団体との関係性構築も進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価結果を活用し、解決する社会の諸課題の選定や助成プログラムなどの見直しを実施 得られた成果を社会に向けて積極的に発信し、協働するパートナー・ステークホルダーを飛躍的に拡大させる 	<ul style="list-style-type: none"> 助成に関する業務プロセスの最適化、効率化を進めると同時に、貸付や投資等新たな資金提供手段を確立 知の構造化センターの立ち上げなど、基本業務以外の発展的な業務に着手。開発・研究成果をステークホルダー内で共有しさらなる高度化を進める。
運営 組織	<ul style="list-style-type: none"> 指定活用団体としての組織体制構築 助成に関する一連の業務サイクルの実行 各種規定、契約の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 立ち上げフェーズを踏まえた改善 中間評価の実施と5年間の活動計画と目標の再設計 	<ul style="list-style-type: none"> 中間評価を踏まえた組織体制の強化 効率的な経営体制の整備
財務	<ul style="list-style-type: none"> 休眠預金の受け入れ 活動予算計画と決算報告 	<ul style="list-style-type: none"> 休眠預金の受け入れ 活動予算計画と決算報告 	<ul style="list-style-type: none"> 中間評価を踏まえた休眠預金受入額拡大 活動予算計画と決算報告 貸付・投資等新たな資金提供手段の検討
民間公益活動の成果の促進	<ul style="list-style-type: none"> 申請等ICTシステムの構築と試験的運用 優先的に解決すべき社会の諸課題の決定 資金分配団体への経営支援の提供開始 制度の認知拡大のための広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ICTシステムの最適化 解決すべき社会の諸課題の再選定 助成プログラムの見直し 社会的インパクト評価結果の情報発信 知の構造化に向けた助成を活用した実験的取り組みの開始 	<ul style="list-style-type: none"> 助成に関する業務プロセスの最適化、効率化 知の構造化センターの設立と主要業務開始 評価指針のアップデート 諸課題の解決に向けたロードマップの作成
エコシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> シンボルマークの策定と認知拡大 制度利用者拡大のための広報活動の開始（説明会、交流イベントなど） 国際的な観点からの交流の開始 	<ul style="list-style-type: none"> 案件発掘のための調査、助成開始 社会の諸課題の可視化と情報発信 助成事業の成果報告（顔の見えるコンテンツ発信など） 資金分配団体の強化に向けプログラム構築（研修の提供、適切なパートナーの紹介など） ベストプラクティスの共有 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の諸課題に関するツールキットやマニュアルの配布 国際機関、国内の専門機関との人材交流の強化と知識と人材のネットワークのハブ機能 収集したデータの活用に関する業界横断的な交流イベントの開催

業務実施計画（詳細）

組織運営

各種規定、契約の整備	認可申請	役員、業務規程の認可申請 業務環境の整備(備品、各種設備など)
指定活用団体としての組織体制構築	組織立ち上げ	事業計画の認可申請(初年度) オフィス開所 部署ごとの業務計画立案(初年度)
	資金分配団体の公募	公募要領の決定と周知
	選定	資金分配団体選定委員会の選定 資金分配団体の選定
	助成	資金分配団体の助成
助成に関する一連の業務サイクルの実行	評価	評価指針、マニュアル案の策定 資金分配団体への情報提供、実装化 資金分配団体の評価
	監査	確定監査 定期監査



立ち上げフェーズを踏まえた改善	業務の課題抽出と対策	繰り返しと課題の洗い出し 部署別の活動計画立案 事業に対する中間評価
中間評価の実施と5年間の活動計画と目標の再設計	事業全体の中間評価	実行フェーズ、発展フェーズの活動計画の立案 事業計画の見直し、目標の再設計

中間評価を踏まえた組織体制の強化	組織体制の強化	経営リソースの適正投入(人員増、アウトソース等) 組織の課題解決(組織体制の見直し含む)
効率的な経営体制の整備	経営状況の分析	過去3年の経営分析と課題設定 課題解決による経営の効率化

財務

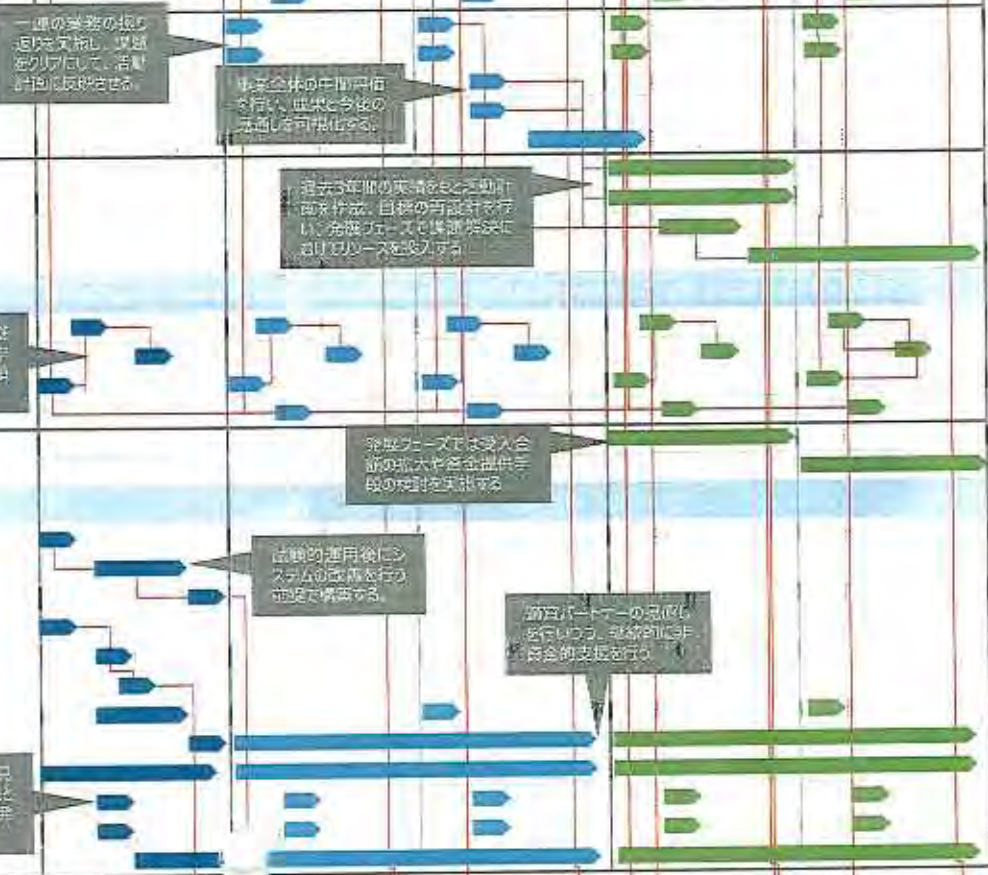
休眠預金の受け入れ	受け入れ業務	交付金の申請 休眠預金の受け入れ
活動予算計画と決算報告	計画立案と報告	活動予算計画の立案 決算報告

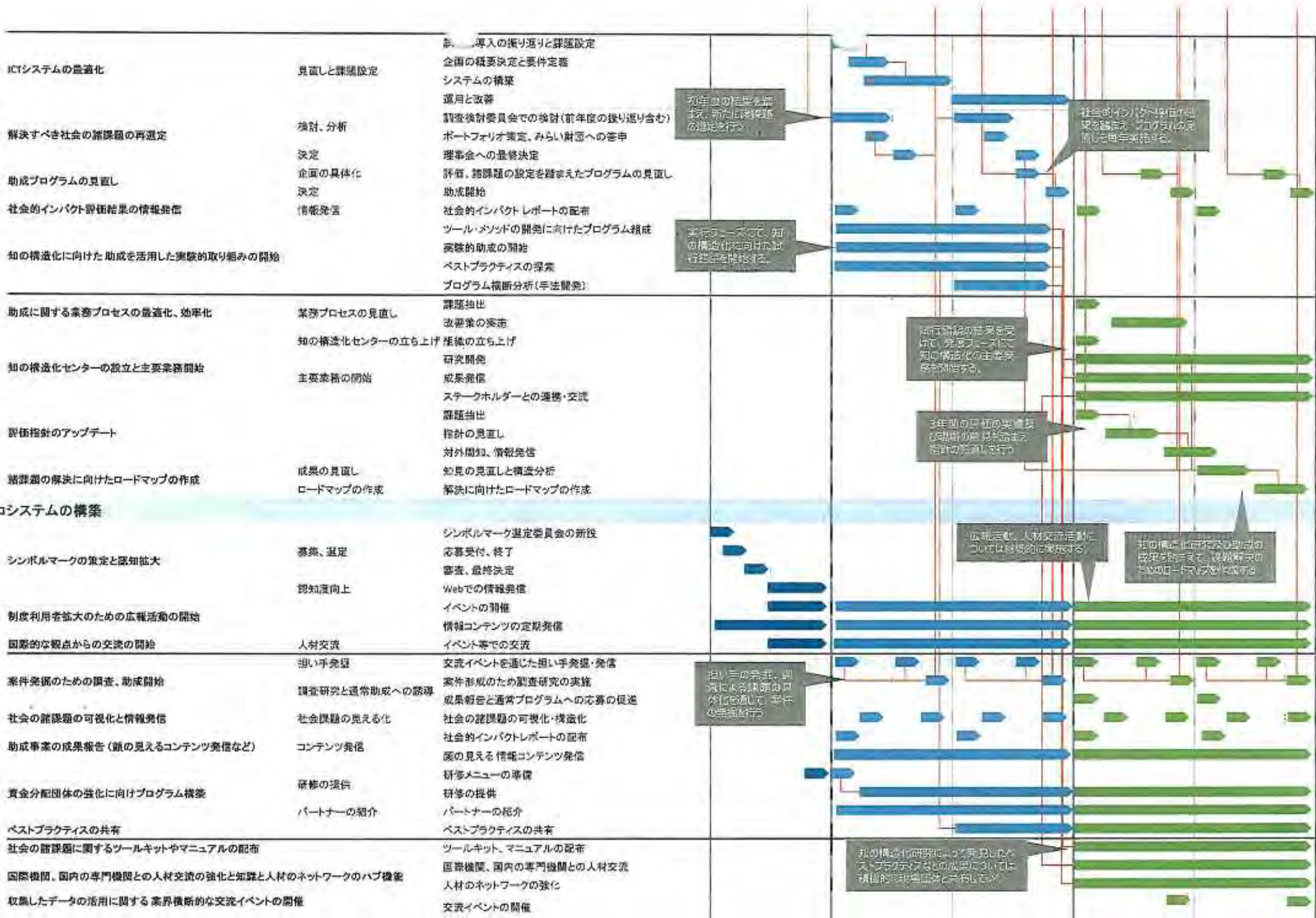
中間評価を踏まえた休眠預金受入額拡大 貸付・投資等新たな資金提供手段の検討		休眠預金受け入れ拡大の検討 新たな資金提供手段の検討
--	--	-------------------------------

民間公益活動の成果の促進

申請等ICTシステムの構築と試験的運用	ICTシステムの構築	企画の概要決定と要件定義 システムの構築
	試験的運用	試験的運用
優先的に解決すべき社会の課題の決定	検討、分析	調査検討委員会での検討 ポートフォリオ策定、みらい財団への咨申
	決定	理事会への最終決定
資金分配団体への経営支援の提供開始	経営支援の提供	非資金的支持パートナー選定 非資金的支持の提供

制度の認知拡大のための広報活動		情報コンテンツの定期発信 記者会見 ワークショップの作成
-----------------	--	------------------------------------





初年度の成果を踏まえ、新たに諸課題の追加を行う。

社会的インパクト評価の結果を踏まえ、イコグロブの元にした再考を行う。

実行フェーズで、知の構造化に向けた実践的取り組みを開始する。

先行検証の結果を受けて、発展フェーズにて知の構造化の主要な確保が図られる。

3年間の研究の成果が現時点で明らかとなり、指針の見直しも行う。

広報活動、人材交流活動については積極的に実施する。

知の構造化研究及び助成の成果を踏まえ、課題解決のためのロードマップを作成する。

思い手の発掘、育成による課題の可視化を促して、案件の発掘を行う。

知の構造化研究によって発見したベストプラクティスなどの成果については積極的に情報発信と共有していく。

中期計画：5カ年収支計画

- 5カ年の収支計画は以下の通り。

単位：百万円	2019	2020	2021	2022	2023
収入					
借入金収入	100	0	0	0	0
受取交付金（助成資金）	2,850	3,600	4,000	8,000	12,000
受取交付金（運営資金）	357	480	330	410	500
収入計	3,307	4,080	4,330	8,410	12,500
支出					
広報事業費	11	11	13	16	19
調査研究費	5	15	20	40	60
事業管理費	116	116	139	167	200
管理費	115	115	138	165	198
支払助成金	2,850	3,600	4,000	8,000	12,000
借入金支出	0	200	0	0	0
支出合計	3,096	4,056	4,310	8,388	12,477
収支計	211	24	20	22	23

助成プログラムの年間スケジュール（2019年度）

- 助成プログラムは以下のスケジュール（案）で実施する。

実施スケジュール （案）	2018年度			2019年度												2020年度												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
調査検討委員会	第1回	第2回		第3回																								
要項&申請書類準備																												
公募																												
説明会&ワークショップ																												
相談会																												
事務局（書類）確認																												
一次（書類）審査																												
二次（ヒアリング）審査																												
訪問調査																												
最終審査																												
事業計画書の修正																												
縦覧																												
理事会																												
キックオフフォーラム																												
四半期レポート																												
中間（役員）ヒアリング																												
中間報告会																												
2年目申請書提出																												
2年目申請書確認																												
成果報告書																												
成果報告会																												

年間計画：収支計画

- 2019年度の収支計画は以下の通り。(準備行為実施計画期間(2019年1月～3月)も含む)

単位：百万円	準備行為実施計画期間			事業計画期間2019											
	2019/1	2019/2	2019/3	2019/4	2019/5	2019/6	2019/7	2019/8	2019/9	2019/10	2019/11	2019/12	2020/1	2020/2	2020/3
収入															
借入金収入	100	0	0	0	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取交付金 (助成資金)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,850	0	0	0	0	0
受取交付金 (運営資金)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	357	0	0	0	0	0
収入計 (収入累計額)	100 100	0 100	0 100	0 100	100 200	0 200	0 200	0 200	0 200	3,207 3,407	0 3,407	0 3,407	0 3,407	0 3,407	0 3,407
支出															
広報事業費	0	0	2	1	1	1	0	2	1	1	3	0	2	1	1
調査研究費	0	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業管理費	10	2	3	8	8	8	8	8	8	8	8	26	8	8	8
管理費	29	6	6	9	9	9	9	9	9	9	9	17	9	9	9
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	0	0	1,850
支出合計 (支出累計額)	40 40	9 49	19 67	18 85	18 103	19 121	17 139	19 157	18 176	18 194	1,020 1,214	43 1,257	19 1,276	18 1,295	1,869 3,163
キャッシュフロー															
収支計	60	-9	-19	-18	82	-19	-17	-19	-18	3,189	-1,020	-43	-19	-18	-1,869
現預金 期首残高	97	157	148	130	112	194	176	158	140	121	3,310	2,290	2,247	2,228	2,209
現預金 期末残高	157	148	130	112	194	176	158	140	121	3,310	2,290	2,247	2,228	2,209	341
(基本財産)	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80
(基本財産以外)	77	68	50	32	114	96	78	60	41	3,230	2,210	2,167	2,148	2,129	261